

狛江市ごみ半減推進審議会(第13期)への諮問内容と理由

1 さらなるごみ減量方法の検討について

市では、令和5年4月からプラスチック類ごみの分別収集開始を予定しており、焼却処理するごみの削減に向け、市、市民、事業者が一丸となって新たな一歩を踏み出そうとしている。

令和3年5月には、これまで増加してきた人口が減少に転じており、今後徐々に進んでいく人口減少社会に応じたごみ対策についても検討が必要である。

このような狛江市の置かれた状況を踏まえ、ごみ減量に資する狛江市に相応しい方法について審議会に諮問する。

2 ごみ処理経費の検証について

現在、ごみ減量のため金銭助成によるごみ減量取組みを行っているが、助成・補助制度導入時と比較して社会状況は変化している。国のエネルギー政策、人口動態等の社会状況の変化を考慮するとともに、他市の状況も踏まえ、ごみ処理経費の検証を審議会に諮問する。